

令和3年度 佐久市総合計画審議会第2部会（第5回） 会議録

日時：令和3年11月4日（木）

午前10時00分～

場所：佐久市役所 7階703会議室

【出席者】相馬部会長、木内副部会長、高橋委員、田村委員、大島委員、土屋委員、臼田委員、丸山委員、笠井委員
以上9名

【事務局】若林課長、木下企画調整係長、小泉土地調整係長、井出主任、金澤主任

○協議事項等

次第

1 開会

- ・部会長挨拶
- ・欠席委員報告（堤委員）

2 議事

（1）第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案について

質疑、意見

事務局	第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案「高速交通ネットワーク」について説明 —質疑、意見等なし—
委員	第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案「地域交通ネットワーク」について説明 生活道路の整備の関係で、地域で草刈り、枝払い等の道路管理をやっている。今一番の問題は、道路の拡幅工事をした結果、非常に大きな法面ができています。法面に生えた木は、道が出来た当初は小さいが、数十年経つと大きくなり、地域で管理することが難しく、木自体が倒れたら、片付けてもらっている。法面の管理は地域で管理することが難しいので、道路の設計段階からメンテナンスも考慮してもらいたい。

事務局	<p>しっかり所管に伝えて、適切な対応をしていきたい。</p>
委員	<p>今デマンド交通の実証運行を佐久市でやっているが、色々な市町村で自動運転の実証実験をやっている。デマンドは、利便性を考えた時にバス停まで行くのが大変である。例えば、メインのラインだけ自動運転の実証実験に参加するのはどうか。技術的な発展が早いので、短期の計画に入れてもよいのではないか。道路整備など、どんな準備が必要なのかということも含めて検討を始めていただきたい。</p>
事務局	<p>今行っているデマンド交通では、移動が困難な一部の高齢者や障がい者に対して自宅の前まで迎えに行く実証実験をしている。自動運転は大きな課題と捉えており、中心的な拠点と周辺地域を結ぶネットワーク作りの手段の一つとして考えている。計画に記載するかどうかは、所管課とも相談して検討させていただく。</p> <p>第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案「農業」について説明</p>
委員	<p>農業に限ったことではないが、「自給率の確保」という観点が出てこない。自給の問題は農業従事者の問題ではなく消費者の問題。供給が止まった時の想像が全然できない。諸外国で自給率を上げている国は国の援助が非常に大きい。自給がどれだけ大切かの視点を醸成してほしい。</p>
委員	<p>消費者の意識がすごく大事だと思う。</p>
委員	<p>供給が止まった時にどうなるか想像すると非常に大変。集約化のところに組み入れてほしい。</p>
事務局	<p>農業の振興を佐久市としてしっかりやっていきたい。自給率の向上への意識づけというのは、所管とも情報交換しながら検討を深めていきたい。</p>
委員	<p>P39（3）の2つ目に「畜産物～」と唐突に出ているが、その意</p>

事務局	<p>義は何かあるのか。佐久の広域の食肉センターの廃止後に加工施設の支援など計画があるのか教えて頂きたい。</p> <p>畜産物という言葉が唐突に出ているというのは解消の必要がある。食肉センターの事をそこまで意識して作られてはいない。ご指摘を加味して所管と検討を深めたい。</p>
委員	<p>農産物のブランド化の記載があるが、畜産物のブランド化（蓼科牛や信州米豚等）も入れてもらえると唐突感がなくなるのではないか。</p>
事務局	<p>第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《林業》について説明</p>
委員	<p>私の住んでいる所は御牧原台地なので、林業という業種として呼べる職種はない。昔の入会地のような自家製の薪や小屋を作る木材を用意するところで、1つの区画が非常に小さい。管理できる人がいなくなっているのが問題。農地では集約化の動きがあるが、小さな山でも里山制度など集約化の政策をとれないか。</p>
事務局	<p>私有林の管理が行き届かないというのが国全体の課題となっている。森林環境譲与税はそこにテコ入れをしたいということ。P43(1)の2つ目に記載の行き着く先が自分で管理できなくなった私有林を法律で管理していく仕組みになっている。</p>
事務局	<p>第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《水産業》について説明</p>
委員	<p>P44 現状と課題1つ目に科学的根拠とあるが、具体的に何かあるのか。</p>
事務局	<p>小鮒の養殖には水中にある酸素量がカギとなる調査結果が出てきている。今年からNTTと連携して、水田がどんな状況であるかを調査している。科学的根拠に基づいた小鮒産業に着手するようになってきた。市の事業として行っている。</p>

委員	<p>小鮒が今年は少なかった。水田に放して飼うのは大変な作業なので、飼う人が少なくなっている。科学的根拠に基づく治験が実現していくとよいと思う。子ども達が水田や川に入る経験がなくなっている。幼少期から魚をとるなどの経験をしていないと、なかなか難しい。</p>
事務局	<p>第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《商業・サービス業》について説明</p>
委員	<p>P47（4）2 つ目について、大型店出店が適切に行われると記載されているが、今大型店の力は佐久全体より大きくなっている。旧商店街がなくなっていく事を前提として考えているのではないか。別の項目に魅力ある商店街の記載もあるが、誰も買い手がいない状態。みんな駅の周りに出て行ってしまおう。何とかならないか。</p>
事務局	<p>まちづくり 3 法については、法律的に書かざるを得ないところがある。にぎわいのあった町を行政も支援しながら取り戻したいと思っている。野沢や中込で人が集まる場所を作る動きがあるが、商店街にも波及効果があるように、話をしていきたい。</p>
委員	<p>岩村田はまち全体を作りかえようとしている。野沢と中込はあれだけの資金力でできるのだろうか。もっと国や市で手助けをしてもらえる方法があればよいと思う。町の中は人がいない。町全体を作り変えるために何かよい方法はないか。</p>
委員	<p>商工会議所でも岩村田を中心にまちづくり株式会社を設立した。エリアとしては野沢と中込も入っているので、その辺をうまくやっていかなければいけないと考えている。農業と同じで後継者がいなかったり、利益がない店がある。具体論になると難しい。話し合う機会を作ってもらえるだけでもお互いの関係が進歩したのではないか。</p>
事務局	<p>第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《観光》について説明</p>
委員	<p>「観光協会の見直し」はよいことだと思うので、ぜひ入れてもら</p>

事務局	<p>いたい。</p> <p>第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《工業》について説明</p>
委員	<p>P52 現状と課題に佐久産業支援センター（SOIC）が出てくるが、P53 後期基本計画の主な取組には出てこないのか。全体に関わっているということか。</p>
事務局	<p>工業において SOIC を中心としていきたいという考えは以前からある。担当課と検討したい。</p>
委員	<p>SOIC は会員も増えてきているし、佐久市以外からも加入したいという要望が出てきている。P53 に記載があってもよいのではないか。</p>
委員	<p>SOIC が出来た理由は、佐久市に移住したいという人が多くグローバルに関わろうという意味であり、色々な組織が関わっている。時給やボランティアで働いている人もいるので、結構大変。</p>
委員	<p>佐久市の水資源について、工業用水を大量に使う様な工場は地下水が枯れてきたら問題。元々降水量が少ない地域なので、水についてはかなり重要な要素になってくると思うが、工場を誘致する際に水を使うことに対する考慮というのはどの程度しているのか。</p>
事務局	<p>工業用水の使用量に上限は設けていないと思う。頂いた意見は大切な視点だと思うので、担当課へ伝えたい。</p> <p>第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《就労・雇用》について説明</p>
委員	<p>P55（3）1 つ目の外国人について、色々な問題が生じているが具体的にどう取り組んでいくのか。</p>
事務局	<p>外国人に頼らないと佐久市の産業が成り立たないという意味で、外国人を雇用していく事をしっかり示すのが基本姿勢。市として行える支援としては、外国人が市に来やすい環境や受け入れ態勢、暮</p>

	<p>らしやすい体制、相談窓口等を整備したいと考えている。一方で外国人との文化の違いによって生活上の課題も見え隠れしている。相互理解や情報伝達をしっかりと進めていきたい。</p>
委員	<p>技能実習生について本来は実習という形で雇用されるが、帰国してからの相互発展などは考えていないのか。</p>
事務局	<p>保健医療分野や介護分野で市と関連事業が連携して「つばさ事業」を地方創生の取組の一環としてやっている。学んだ技術を自国で活かして頂いて未発展の保健医療、介護という分野で自国の発展に尽くしてもらおう。さらに佐久市の健康関連産業も持ち出して、産業振興にもつなげていくという取組を行っている。部分的には行っているが、産業全体では未発展の状況。</p>

(2) その他
質疑、意見

事務局	<p>次回の開催は、12月8日(水)14時00分からの予定。</p>
-----	------------------------------------

3 閉会